

# Quality Function Deployment(品質機能展開) のお勧め

- 売れる商品を企画したい
- 開発期間を短縮したい
- 商品開発に効率良く経営資源を投入したい
- 部門間連携を良くしたい
- 製造原価を低減したい
- クレームをなくしたい
- 技術ノウハウを蓄積したい



## QFDとは

- ★ お客の声を抽出して整理し、ベンチマーキング(他社比較)することにより、他社よりも「魅力のある」商品企画と製品SPECへの展開技術課題の抽出と各部門の課題への展開 を行う方法です。
- ★ 当社では下記の点に重点をおいてQFDを活用しています。
  - 「重点指向」「全員の知恵を結集」の考え方の徹底導入
  - お客様の生の声(Raw Voice)から要求品質(VOC)を抽出する考え方
  - ベンチマーキングの徹底
  - 新製品開発システム設計技法として活用する

QFDでは実際の改善はできませんが、どこに重点をおくかが非常に明確になります。また、改善した結果のチェックと今後の重点の抽出にも使えます。従って、Taguchi Methods, TRIZとあわせた導入が一般的です。

QS9000では義務づけられています

## 導入例

**商品例** オートバイ、スノーモービル、ゴルフカー、船舶、機械・設備用センサー、タイマー、温度調節器、工業用エアードライヤー、電力会社向け設備、焼却炉、生理用品、水まわり商品、燃焼炉用器材、自動車用電装品、自動車車体部品、通信機、自動車用エンジン、船外機、etc  
の商品企画段階・商品開発段階で活用した実績があります。

**成功例**

- 企画目標販売台数の\*\*倍の売上増
- 販売開始以降のメジャートラブルゼロ
- \*\*商品でGood Design賞受賞

**ITEQ** | International

Institute of Technology, Engineering and Quality  
有限会社アイテックインターナショナル

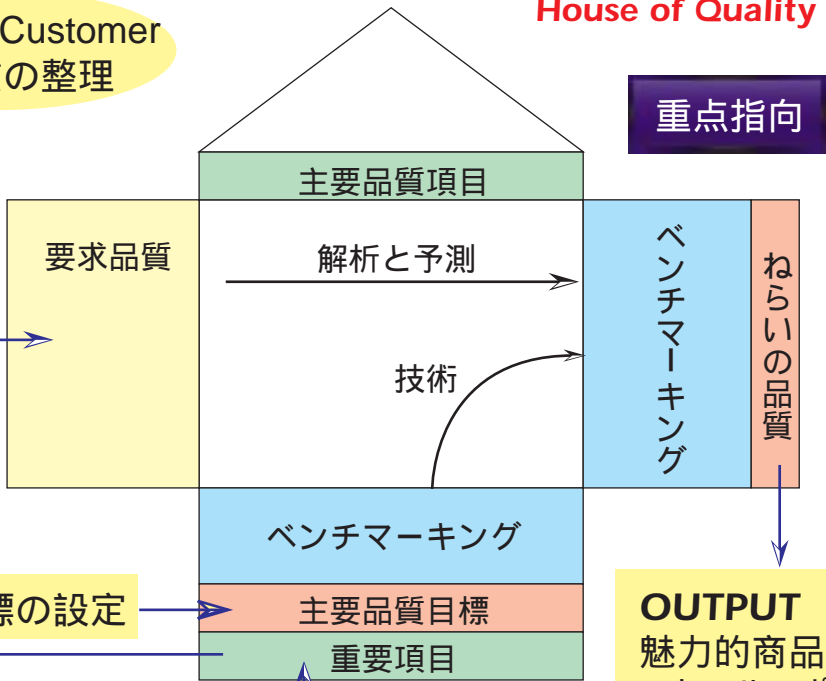
連絡先

〒462-0844 名古屋市北区清水3丁目8番5号 URL <http://www.iteq.co.jp/>  
第1事業部 TEL:052-917-0711 FAX:052-917-0712

# QFD活用の流れ

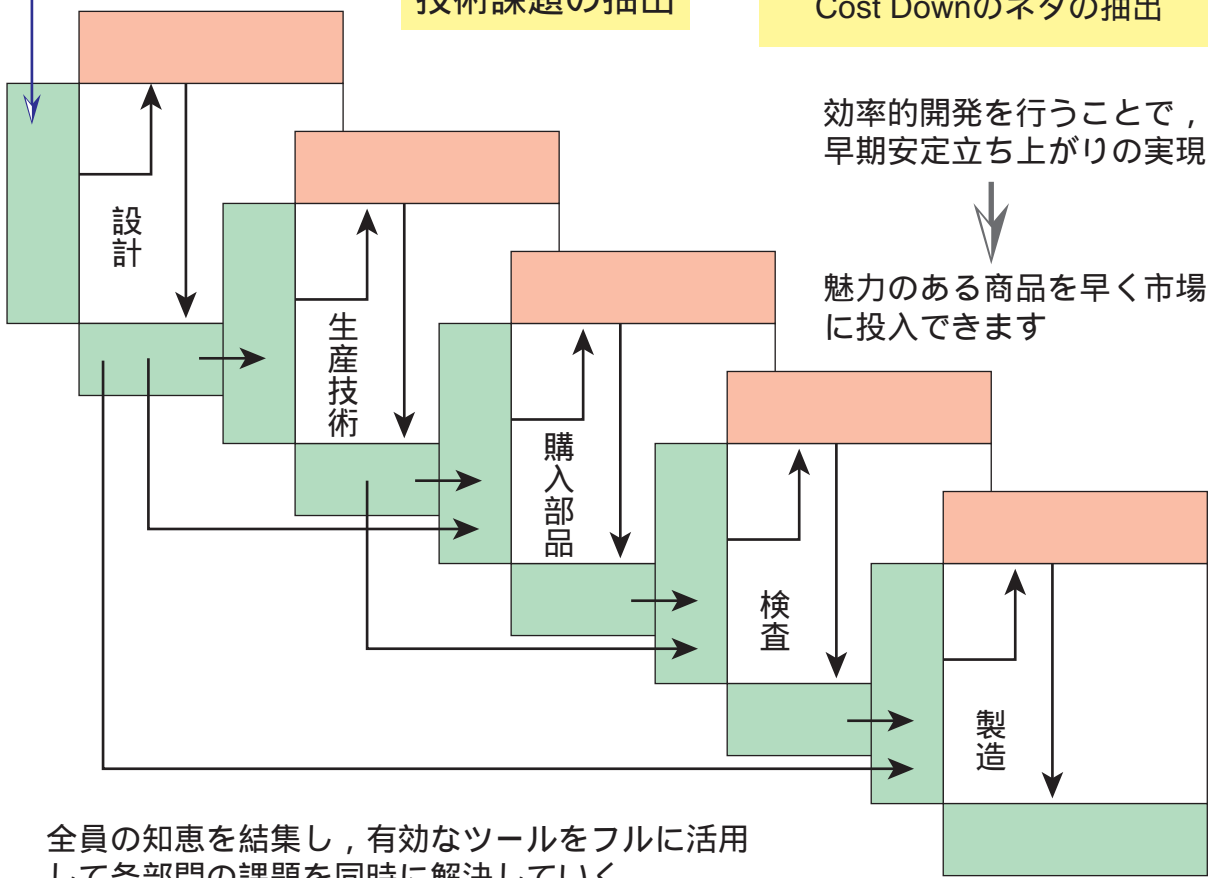
家の形に似ていることから  
**House of Quality** と呼ばれています

Voice of Customer  
要求品質の整理



重点指向

**OUTPUT**  
魅力的商品企画  
セールスポイントの明確化  
Level Up VOCの抽出  
Cost Downのネタの抽出



効率的開発を行うことで、  
早期安定立ち上がりの実現

魅力のある商品を早く市場  
に投入できます

全員の知恵を結集し、有効なツールをフルに活用  
して各部門の課題を同時に解決していく

## 導入の概要



実践経験豊富な講師が、色々なノウハウも含めて指導します  
(文献に記載されていない内容が多いです)

貴社の商品とマーケットにより最適なQFDの使い方があります。その使い方と見方、OUTPUTの出し方を実践を通じて身につけて頂きます。

### カリキュラムの例

#### ● Managerコース

【目的】導入のキッカケ作り，QFDの考え方に基づく管理方法の習得

内容	日数
1.開発の諸問題 2.QFDの必要性 3.品質機能の展開（要求の整理・効果的開発方法） 4.QFDの成果 5.品質機能展開におけるManagerの役割	半日 または 1日

#### ● 実践コース

【目的】QFDを活用するにあたり，重要な考え方と基本的な活用の流れを学ぶ

内容	日数
1.良い品質とは 2.品質展開とその方法 3.要求品質の整理における考え方と流れ 4.要求品質の展開（効果的活動を行うには） 5.QFD実践のためのポイント 6.実施例の紹介 7.要求品質展開表の作成（実業務による演習）	2日 または 3日

貴社の商品・受講対象者の業務等によりご相談させていただきます。